

北海道の体育

体研連ミニ広報

No. 1

令和6年5月15日(水)

令和6年度 定期総会報告

令和6年4月27日(土)に北海道学校体育研究連盟の定期総会が開催されました。ホテルライフオーツ札幌に役員・事務局員をはじめ13支部から58名の参加となりました。

開会后、まず秀島委員長より挨拶があり、昨年度全道大会開催の十勝支部の細部にわたる配慮への感謝と、「本連盟が柔軟で年齢に関わらず何でも意見を交流できる賑やかな連盟でありたい。そして今年度の全道大会は全国のプレ大会という位置付けであり、全国大会に向けて北海道がワンチームになって“ひらく未来”の通りに学校体育の未来を創造し、発信していきたい。」と抱負を述べました。

続いて第27代委員長の小野寺正顧問より御挨拶いただきました。「ここまでの間に開催された全道研究大会や毎年の研究担当者研修会、各地で実践されてきた研究の積み重ねが次年度の全国大会に繋がっている。北海道の体育は全国にその実力を示す力が備わっていると確信している。オール北海道で取り組み、ぜひとも全国大会を成功させていただきたい。」と述べられました。

次に令和5年度の業務活動報告がなされました。16支部619名の会員が力を合わせて今後も事業が持続可能となるよう、協力のお願がありました。続いて昨年度全道大会開催の十勝支部より昨年度の成果や課題が報告され、各支部からの授業実践や研修会の報告を通して各支部の研究の積み重ねを交流しました。



令和6年度の計画に関しては、嶋本事務局長より、「全道大会、全国大会では、北海道から全国へ提案できるよう授業力と組織力を向上させていきたい。」と話がありました。

次に、村上小学校研究部副部長より全道統一研究主題である「つなぐ体育 ひらく未来」について改めて確認がなされ、全国大会の趣旨文について説明がありました。また、現在スポーツ庁教科調査官に御助言をいただきながら作業を進めていること、趣旨文は全国大会における憲法のようなものであり、全ての根幹にあるもので、みんなで共有し、事あるごとにこの趣旨文に立ち返りながら研究を進めていくことが確認されました。

令和6年度予算案では、佐賀会計担当事務局次長より、会費は一人1,500円、600名で予算案が作成されていること、支出については、全国大会に向けて10万円の積立を今年も行うことなどに



秀島 起也 委員長



第27代委員長 小野寺 正 様

ついて説明、各支部には会費納入の領収書をPDFでデータ送付することを提案し、承認されました。

令和6年度の業務計画、全道研究担当者研修会、予算案は全て承認されました。

その他に、今年度の全道研究担当者研修会は、実技研修会として「足育研修会」を7月29日(月)に実施する予定であることが確認されました。

議事の最後は、役員選考委員長より新役員の選考結果が伝えられ、令和6年度の新役員が決定しました。また、嶋本新委員長から高橋事務局長、佐賀事務局次長、小林次長、網島次長、山田次長の委嘱が行われました。

最後に、昨年度開催の十勝支部から今年度全道大会開催支部の札幌支部へ連盟旗引渡しが行われました。札幌大会を全会員で盛り上げていくことが確認され、令和6年度の定期総会が閉会となりました。

《令和6年度新役員》※敬称略

委員長	嶋本	剛	(札幌)	新
副委員長	永井	敬仁	(札幌)	
	菅原	伸一	(札幌)	新
	谷	寧	(札幌)	新
	佐藤	栄一	(旭川)	
	齋藤	政洋	(渡島)	新
	林	政孝	(釧路)	
	半田	啓一	(函館)	新
	工藤	智	(留萌)	
	信田	雅守	(林-ツ)	新
	加藤	幸一	(上川)	新
	佐々木	弘司	(檜山)	
	齋藤	直幸	(小樽)	新
	島	朋朗	(後志)	新
	塩原	悟	(宗谷)	
	玉手	広昭	(日高)	
監事	鈴木	隆史	(札幌)	新
	田川	則紀	(札幌)	
事務局長	高橋	直之	(札幌)	新
事務局次長	佐賀	主昌	(札幌)	
	小林	大介	(札幌)	
	網島	七恵	(札幌)	新
	山田	健	(札幌)	新



令和6年度 新役員



嶋本 剛 新委員長



連盟旗引渡しの様子

(文責：広報部 高橋 島田 早川)